

# 土中通信

延岡市立土々呂中学校  
令和6年度学校通信 No.2 文責 岡崎 裕也



## 【大きな行事が終了しました。】

五月は、土々呂中にとて重要な行事が集中する月でもありました。学校行事は生徒が成長する大きなきっかけでもあります。

### 【体育大会】

5月12日（日）に、本校体育大会を実施しました。当日は朝から曇天、高い降水確率でしたので、早朝から実施について検討を重ねましたが、小雨決行として実施しました。予報どおり、開始と同時に雨が降り始めましたが、生徒は普段同様に、競技の応援に声を張り上げ、全力で向かう姿勢を見せました。最後は雨脚が強くなり、各団テント待機での閉会式となりましたが、全競技を終えることができました。生徒それぞれのやりきったという満足そうな様子が印象的でした。雨にも関わらず、応援していただいたご来賓、保護者の皆様、どうもありがとうございました。



## 【生徒総会】

5月24日（金）、生徒総会でした。この日に備え、各学級での提案事項への質疑の準備、協議を進めながら、24日の本番でした。まず、各専門部会からの年間活動の提案の質疑を行い、その後、土々呂中学校をより良くするための各学級からの提案を出し合いました。年に一回の全校生徒だけでの審議活動です、学年問わらず、積極的な意見や質問が出され、土々呂中をよりよくしようという意欲を感じました。今後は、意見をどれだけ具現化できるか、生徒と土々呂中の成長が試される一年となりそうです。



## 【人事を尽くして天命を待とう！】

6月から、いよいよ地区中学校総合体育大会が始まります。特に3年生にとっては、部活動の集大成の大会です。

NHKの大河ドラマ『どうする家康』で、織田信長が、武田軍と決戦前、味方に対し、「勝ち負けよりも、各々方がすべきことを果たすべし、その上で信長か信玄（武田）かは天が決めること。」

と言う場面がありました。

勝負ですから時の運もあります。しかし、悔いが残らぬよう、必要な準備をもって100%の状況で臨んでほしいと思います。